

鯨 研 通 信

第 336 号

1980年 9月

財団法人 鯨類研究所 〒135 東京都江東区越中島1丁目3番1号 電話 東京(642) 2888 (代表)



鯨 類 の 学 名 の 意 味

遠洋水産研究所 大 隅 清 治

リンネが *Systema Naturae* と題する著書を 1758 年に出版して以来、すべての生物にラテン語の 2 語で表現される“学名”が付けられるようになったことはよく知られている。リンネはスウェーデンの学者であったが、彼は学名を付けるのに、母国語であるスウェーデン語を用いずに、ラテン語を用いたのは、ラテン語が当時の欧州における学者の間の国際語であったからである。リンネがもしスウェーデン語で学名を付けたとしたら、彼の提唱した学名の命名法は国際的に受け入れられなかったし、有名にもならなかったであろう。今日われわれが論文を英語で書くように、リンネは彼の論文の大部分をラテン語で書いたといわれる。

ラテン語は欧州の古典語であり、欧州語の根源をなしていることが多いし、知識人はラテン語を学んでいる人が多いので、欧米人にとっては学名は、親しみ易いし、覚え易い。しかしながら、欧州と全く異なった言語と文化を持つわれわれ日本人に取っては、学名を覚えるのは一苦勞である。またその学名がどういう日本語の意味を持っているかも知りたいところである。

現在世界の海あるいは河に約 90 種の鯨類が生活しており、それら全てに学名が付けられている。その中の主な種について学名の意味について著者の知り得た点を解説したい。

学名の用語は先きにも述べたようにラテン語が原則であるが、中には古典ギリシャ語に由来する語もある。解説の中にそれらを区別するためにラテン語を (L)、ギリシャ語を (G) として示すことにする。人名その他の言葉も時として学名に用いられる。

A 1. 鯨 目 CETACEA

cetus (L) は大きな海の創造物つまり、クジラやイルカを意味する。

A 2. ヒゲクジラ亜目 MYSTICETI

Mustax (G) は口鬚、cetus (L) の意味は A 1 に述べた。くじらひげが上顎口中にくちひげのように生えているところから名付けられた。

A 3. セミクジラ科 BALAENIDAE

balaene (L) は鯨を意味する。つまり正真正銘の鯨ということになる。

A 4. ホッキョククジラ *Balaena mysticetus*

Balaena (L) は A 3 に、mysticetus は A 2 に述べた。この鯨種は“真のくちひげのある鯨”ということになる。この鯨種が命名された当時、これが捕鯨業の主たる対象鯨種であったことを考えると納得できよう。

A 5. セミクジラ *Eubalaena glacialis*

eu- (G) はよいかすぐれたを意味する接頭語であり、この場合典型的なという意味で用いられている。balaena は A 3 に示され、glacialis (L) は氷の意味である。したがってこの鯨は、「氷の海に分布する典型的な鯨」という意味になるが、実際にはセミクジラは氷の多い極海には分布せず、むしろホッキョククジラと名を交換した方がよしいと思われる。

A 6. コセミクジラ *Caperea marginata*

capero (L) はしわの寄ったという意味で鼓室骨の表面のしわの寄った特長を示した。margo (L) は縁を意味し、くじらひげ板の縁に黒い帯がみられるところから由来したとされている。

A 7. コクジラ科 ESCHRICHTIDAE

鯨類に関するいくつかの重要な論文を書いたことのあるオランダの動物学者 D. F. Eschricht (1798—1863) を記念して名付けられた。つまり、「エシュリヒトさんの鯨」ということになる。

A 8. コクジラ *Eschrichtius robustus*

属名は A7 から由来し, *robustus* (L) はたくましいという意味である。

A 9. ナガスクジラ科 BALAENOPTERIDAE

balaena (L) は A3 に示し, *pteron* (G) は羽, 翼あるいは鱗を示し, ここでは「背鱗のある鯨」という意味である。

A 10. ミンクジラ *Balaenoptera acutorostrata*

acutus (L) は尖ったの意味を有し, *rostrum* (L) は吻を示す。この鯨種の吻は他のナガスクジラ属のそれよりも尖った上吻を型成しているところに由来する。「尖った上吻を有する背鱗のある鯨」と訳すことができよう。

A 11. イワシクジラ *B. borealis*

boreus (L) は北を意味し, *alis* (L) は属するという意味の接尾語である。イワシクジラは「北にいる背鱗のある鯨」という意味になるが, シロナガスクジラやナガスクジラに比べれば極海よりも北半球では南に多く分布し, あまり適切な言葉と思えない。

A 12. ナガスクジラ *B. physalus*

physalis (G) はパイプの意味で, 転じて噴気孔を表現する。

A 13. シロナガスクジラ *B. musculus*

その体型からは全く想像できないことであるけれども, *musculus* (L) は「小さなネズミ」の意味である。この言葉はリンネの前にブライニーによって始め鯨を嚮導すると考えられた一種の魚にこの言葉を用いたのであるが, リンネは間違えて, シロナガスクジラの学名にしてしまったそうである。

A 14. ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae*

megas (G) は「大きい」, *pteron* (G) は A9 に記したように鱗である。このクジラの特長である「大きな胸鱗」を表現している。*novaeangliae* は New England の意味で, 米国北大西洋岸の地方名である。

「ニューイングランドにみられる大きな鱗をもつ鯨」ということになる。この地方には今もザトウクジラが沢山回遊してくる。

B 1. ハクジラ亜目 ODONTOCETI

odontos (G) は歯を表わし, *ketos* (G) は A1 に述べてある。要するに「歯のある鯨」である。

B 2. トックリクジラ *Hyperoodon ampullatus*

hyperoe (G) は口の上の部分指し, *odon* (G) は歯である。したがって *Hyperoodon* は「上顎に歯のある」ということになるが, これは当時の学者の誤解から生じている。実際にはトックリクジラは通常下顎の先端に1対の歯を有し, 上顎には歯はない。*ampulla* (L) は瓶を意味し—*atus* (L) は「備わっている」という意味の接尾語である。すなわち「頭が瓶の型をした上顎に歯のある鯨」ということになる。

B 3. ヨーロッパオウギハクジラ *Mesoplodon bidens*

mesos (G) は中央, *oplon* (G) は武器, *odon* (G) は歯であるから, 「中央に武器となる歯がある」という意味が *mesoplodon* であり, *bidens* (L) は2つの歯という意味である。この鯨は下顎中央部に1対の歯を有しており, その特長が表現されている。

B 4. アカボウクジラ *Ziphius cavirostris*

ziphius (L) はギリシャ語の剣を意味する *xiphos* から由来しており, 剣が転じて, 吻の意味になったと考えられる。*cavus* (L) は, くぼみであり, *rostrum* (L) は吻である。この鯨の頭部を横からみると, 吻の部分がくぼんでしゃくれているところから由来すると思われる。

B 5. シロイルカ *Delphinapterus leucas*

delphis (G) はイルカ, *a-*(G) は否定を意味する接頭語, *pteron* (G) は A9 に示した鱗である。つまり背鱗のないイルカの意が *Delphinapterus* である。*leukos* (G) は「白」の意味で, この鯨種は成長するにつれて体色が真白になることを表現している。

B 6. イッカク *Monodon monoceros*

monos (G) は単一, *odontos* は歯である。*keras* (G) は動物の角を指す。その学名通りこの鯨種は上顎先端の1本の歯が角のように長く伸びるのが特長であ

る。

B 7. マッコウクジラ *Physeter catodon*

phusteter (G) はパイプの意味で、噴気孔に転じた。この鯨種の特長な噴気孔を表現している。kata (G) は下を意味し、odontos は歯である。つまり下顎に歯を有するという意味になる。最近 macrocephalus を catodon に代って用いるのが通例になった。makros (G) は長い、kephale (G) は頭を意味する。つまり「長い頭」ということになり、これもこの鯨種の特長を表現している。

B 8. コマッコウ *Kogia breviceps*

Kogia は19世紀前半に地中海における鯨種の観察を行なったトルコの学者 Cogia Effendi の名から取ったらしい。brevis (L) は短かい、ceps (L) は頭を意味し、マッコウクジラに比して頭が短かい特長を表現している。

B 9. アマゾンカワイルカ *Inia geoffrensis*

Inia はポリビヤ語でイルカを意味し、geoffr はフランスの動物学者 Etienne geoffroy saint-Hilaire (1772—1844) の名、そして—ensis (L) は属するという意味の接尾語である。「ゲオフロイさんのポリビヤ産のイルカ」ということになろう。

B 10. ヨウスコウカワイルカ *Lipotes vexillifer*

leipo (G) は種族の中で置き去りにされたの意味で、—tes (G) は接尾語。つまり他から隔絶されたイルカの種ということになる。vexillum (L) は旗、fero (L) はささげ持つの意で、この鯨種の背びれが通常水面から出て遊いでいる習性から由来している。

B 11. シワハイルカ *Steno bredanensis*

steno はデンマークの解剖学者で地理学者でもある Nikolaus Steno (1638—1687) の名から取っており、breda も同じく有名な G. Cuvier のもとに、この鯨種の頭骨のスケッチを送った Monsieur Van Breda という人の名であり、—ensis は「に属する」という接尾語である。

B 12. ネズミイルカ *Phocaena phocaena*

phokaina (G) はイルカを意味する。北欧ではこれがかもっとも普通みられるイルカであるので、「イルカ中のイルカ」とでもいうべき名である。

B 13. スナメリ *Neophocaena phocaenoides*

neo (G) は新しい、phokaina (G) はイルカ、—oides (L) は eidos (G) から由来し、型を意味する。ネズミイルカの新種とでも考えたのか。

B 14. イシイルカ *Phocaenoides dalli*

Phokaina (G) はイルカ、—oides (L) は型、dalli は米国の地理学調査に従事した W. H. Dall (1845—1927) の名に由来する。

B 15. マゴンドウ *Globicephala melaena*

globus (L) は丸いボール、Kephale (G) は頭、melas (G) は黒を意味する。体色が黒く、頭が丸いこの鯨種の特長がよく表現されている。

B 16. イラワジカワイルカ *Orcaella brevirostris*

orca (L) は海の怪物、—ellus (L) は小さいという意味の接尾語。brevis (L) は短かい、rostrum (L) は吻を表現する。「吻の短かい小さな海の怪物」ということになる。

B 17. シャチ *Orcinus orca*

orca (L) は海の怪物、—inus (L) は…に似たという意味の接尾語。要するにシャチは海の怪物である。

B 18. オキゴンドウ *Pseudorca crassidens*

pseudes (G) はにせもの、orca はシャチ、頭骨がシャチに似ているからこの名が付けられた。crassus (L) は厚いとか重い意であり、dens (L) は歯の意であり「大きな力強い歯を有する」この鯨種を表現している。この鯨種は始め、半化石になった頭骨が発見され、その骨の研究からこの学名が付けられた。

B 19. セミイルカ *Lissodelphis borealis*

Lissos (G) は滑らかな、delphis (G) はイルカを意味し、背びれもなくなめらかな体型をしたイルカという意味であろう。また borealis は A 11 のイワシクジラと同じく、北に属するという意味である。しかしセミイルカもイワシクジラと同様にあまり高緯度に分布せず、borealis の語は適切といえない。

B 20. マツパイルカ *Grampus griseus*

grampus は恐らくスペイン語の「大きな魚」がその起源であり、griseus (L) は灰色の意で体色が灰色であるところから由来する。この鯨種はハナゴウドウ

ともいわれる。

B 21. タイセイヨウカマイルカ *Lagenorhynchus acutus*

lagenos (G) は扁平球型のぶどう酒びん rhunkhos (G) は物を意味する。つまり扁平球型をした物をもつということになる。acutus (L) は尖っているの意。

B 22. ハシナガイルカ *Stenella longirostris*

stenos (G) は狭い、—ellus (L) は小さいの意の

接尾語。従ってだんだん狭くなるということになるが、どの部分を指すのか不明である。longus (L) は長い、rostrum (L) は吻であり、吻の長いイルカを指す。

B 23. バンドウイルカ *Tursiops truncatus*

tursio (L) はイルカに似た魚の一種、opsis (G) は姿の意。trunco (L) は短かくする、切断するの意で吻が他のイルカ類に比して短いことを示すものであろう。

ゲ イ は 身 を 助 く

勝浦黒潮資料館 矢 代 嘉 春

此の春、川島四郎先生とインド旅行中“ゲイは身を助く”という面白い話を承った。先生は軍用食糧研究の権威だから、いくら少将でも戦犯には関係ないだろうと思っていたら、昭和の始め日本の将来作戦地（北はシベリア南はジャバ）の食糧の調査をしていたので“戦争企画者の行為”と見做され、何のかのと罪名をつけられ危く巣鴨プリズン行きとなる処であった。

処が、当時の米軍捕虜がいて、ゼネラル川島は戦時中々の食糧難の時代に日本人でもめったに喰べることの出来ぬ牛肉を、我々捕虜に喰べさせてくれた人道主義者であると上申してくれ危く助かったという。

先生は長年の研究で、すべての動物の肉それぞれの風味は、その動物の後足の大腿骨の骨髓から出ていることを知っていたので、鯨の肉を大髄骨の油で調理すると牛肉によく似た風味となる。この要領で捕虜に鯨肉を喰べさせていた。こうしてゲイ（鯨）は身を助けてくれたわけですね——と阿々大笑するのである。

此の話たいへん面白く記憶していた処、たまたま寺尾新先生の海の科学随筆（昭和16年）を見ていたら裏書きするような話が出ていた。

——鯨には人間の後産とそっくりなものはありません。この点は牛によく似ています。昔牛肉の大和煮缶詰が盛に売りに出されていた頃、牛の替りに鯨を使いたいへんな売れ行きのことがありました。然し当時は今と違い鯨の肉は宣伝されていなかったのははっきり鯨と断るのが具合悪く、牛の頭をレットルに描き、牛首印大和煮缶詰という名をつけた。つまり羊頭狗肉でなく牛頭鯨肉です……」

同じように太地の鯨組の直系の血をひく太地五郎作氏は自分でも鯨船にのった事のある人だけに尙くわしく、氏の著太地捕鯨史に次の様にあり、小島さんの言う通りである。

「肉のもっともうまい処は、こぼね先きと言って肋骨の真中の肉でローズ級と言った処、これから下の腹のみあたりが一番いい」